

事業の概要【参考】

国道483号 北近畿豊岡自動車道(延長約70km)は、兵庫県北部の但馬地域と丹波地域の連携を支援するとともに、舞鶴若狭自動車道等を介して、京阪神都市圏と直結することで、地域の活性化を支援する自動車専用道路です。

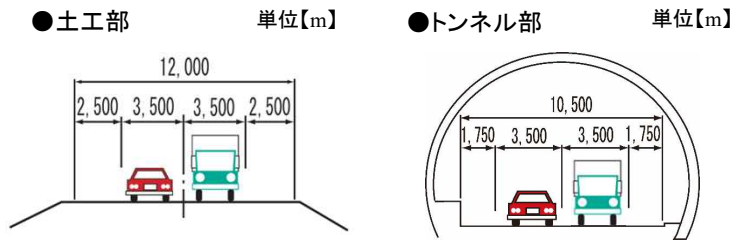
今回、北近畿豊岡自動車道の一部を形成する日高豊岡南道路 延長6.1km(但馬空港IC～日高神鍋高原IC)が2車線で開通することになります。

日高豊岡南道路は、災害時等の交通の確保、第3次医療機関へのアクセス向上及び観光振興への支援等を目的としています。

○開通概要

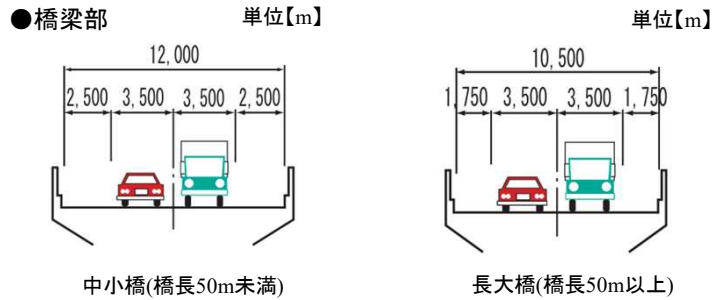
区間	(起)兵庫県豊岡市上佐野 (至)兵庫県豊岡市日高町久斗
道路延長	6.1km
構造規格	第1種第3級
設計速度	80km/h
車線数	2車線
標準幅員	12.0m

○標準断面図

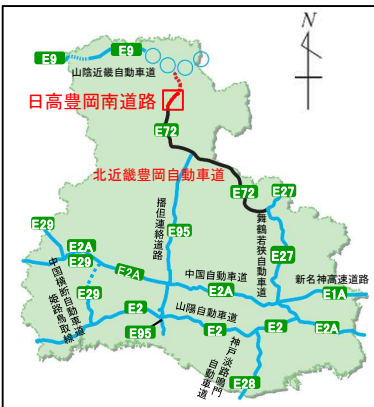


○主な事業の経緯

年度	事業実施項目
平成18年度	事業化
平成22年度	用地着手
平成24年度	工事着手



【位置図】



凡例	
北近畿豊岡自動車道	調査中区間
開通済区間	開通済区間
今回開通区間	今回開通区間
事業中区間	事業中区間
その他高速道路等	調査中区間

凡例	
北近畿豊岡自動車道	調査中区間
開通済区間	開通済区間
今回開通区間	今回開通区間
事業中区間	事業中区間

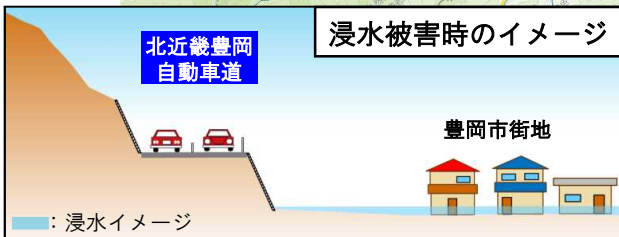
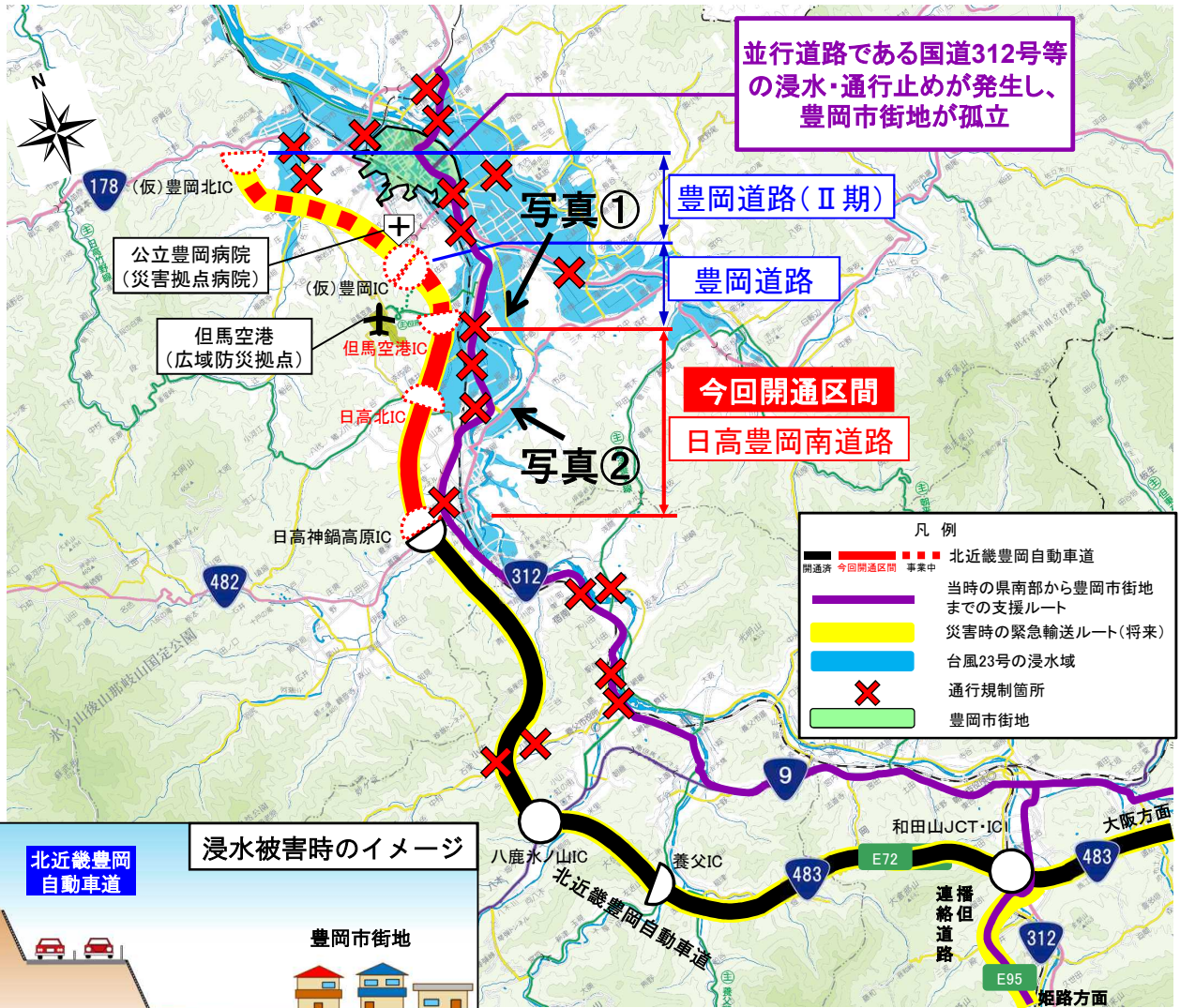
期待される整備効果【参考】

◇災害時等の交通確保

平成16年10月の台風23号をはじめ、但馬地域を流れる円山川は幾度となく氾濫が起き、市民生活に多大な影響を与えている。

日高豊岡南道路は、標高の高い位置を通過するため、水害への影響は受けにくく、災害時においても緊急輸送道路としての機能の確保が期待される。

〈平成16年台風23号での通行止めの状況〉



写真①: 水没した国道312号(豊岡市日高町東芝地内)
撮影日: 平成16年10月21日



写真②: 円山川周辺の浸水状況(豊岡市日高町堀地内付近)
撮影日: 平成16年10月21日

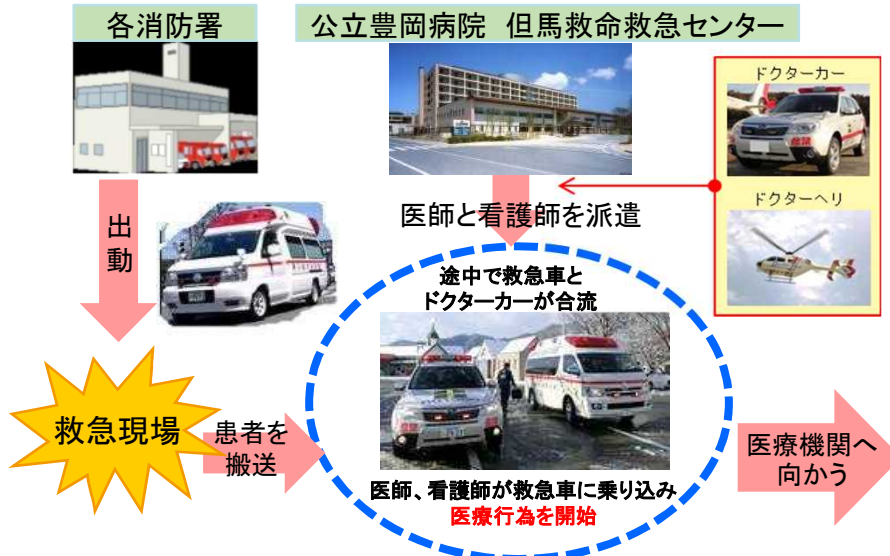
期待される整備効果【参考】

◇第3次救急医療機関へのアクセス向上

但馬地域は最寄りの消防署から救急車で1時間以上かかる^{※1}場所もあり、豊岡病院からドクターヘリを運行しているが、夜間や悪天候時など、ヘリで対応出来ない場合にドクターカーでカバーする救急医療体制を構築している。

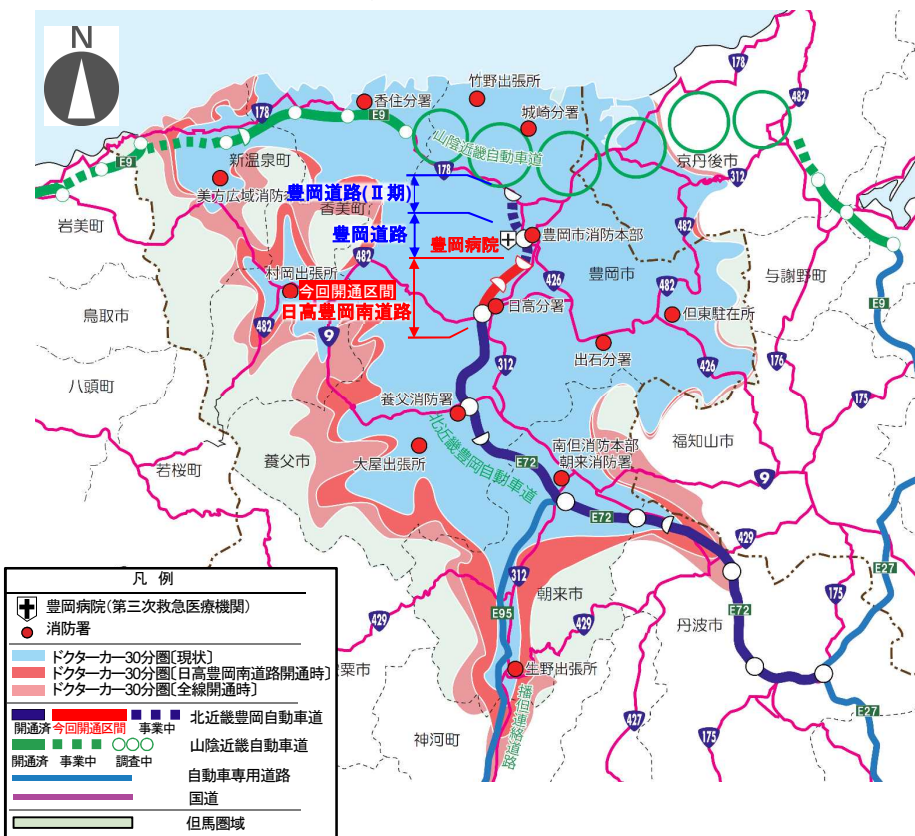
日高豊岡南道路及び但馬地域の道路ネットワークの整備により、但馬地域のドクターカー30分圏域^{※2}人口カバー率が90%→98%に拡大し、救急搬送時の時間短縮が期待される。

<但馬地域における救急医療体制>

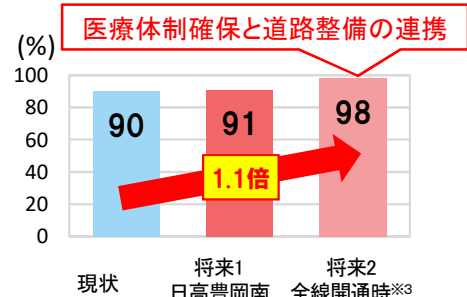


【ドクターカー】
ドクターカーに医師、看護師等が乗務し、救急現場に出場して医療行為を行うことによって、地域住民の救命率の向上及び後遺症の軽減を図る事を目的としています。

<豊岡病院から30分圏域の変化>



<但馬地域の30分圏域人口カバー率>



出典:豊岡河川国道事務所調べ
^{※3} 全線開通時の定義は、北近畿豊岡自動車道及び山陰近畿自動車道の事業中、調査中区間が開通した場合。

<但馬救命救急センター 小林センター長の声>



- ・救命率向上には、一刻も早く医療行為を始めることが必要。
- ・救命率向上には、一刻も早く医療行為を始めることが必要。
- ・時代は「攻めの医療(ドクターヘリ・カーシステム)」へ。但馬地域独自の医療体制により、受入れ困難事例はない。
- ・道路整備が時間短縮の「肝」です。

出典:豊岡河川国道事務所調べ(H30年7月)

※1 緊急時(大量出血等)では、搬送時間が60分になると、生存率は10%と極めて低く、30分以内(50%の生存率)の搬送が必要とされています。

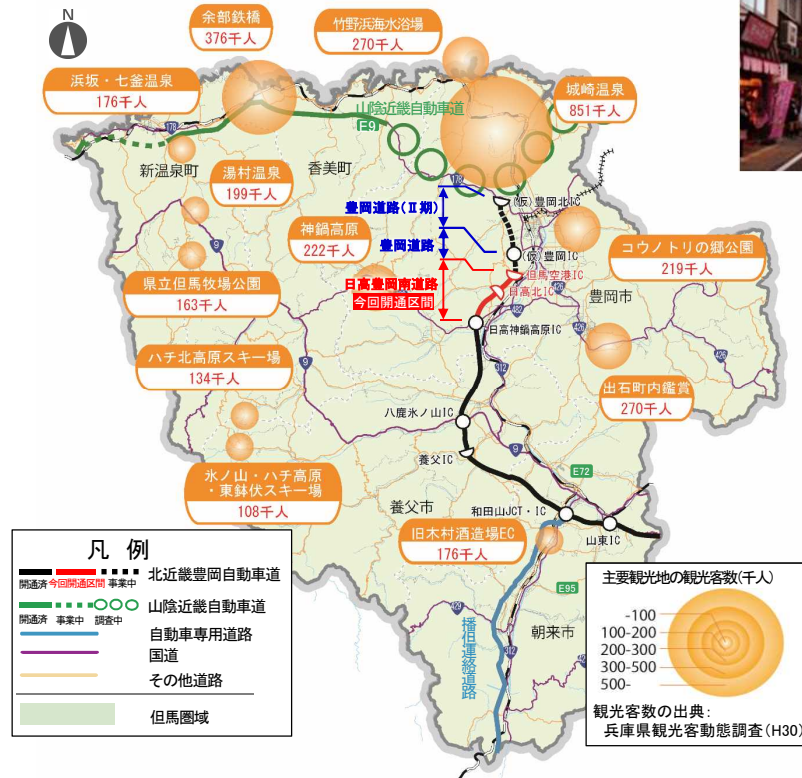
※2 ドクターカー30分圏域は、豊岡病院から出発するドクターカーと各消防署から出発する救急車が30分以内で合流することができるエリア。

期待される整備効果【参考】

◇観光振興への支援

但馬地域には「城崎温泉」や「神鍋高原」といった観光資源が存在しており、日高豊岡南道路の整備による利便性の向上により、但馬地域内の更なる観光の活性化が期待される。

<但馬地域の主要な観光入込客数>

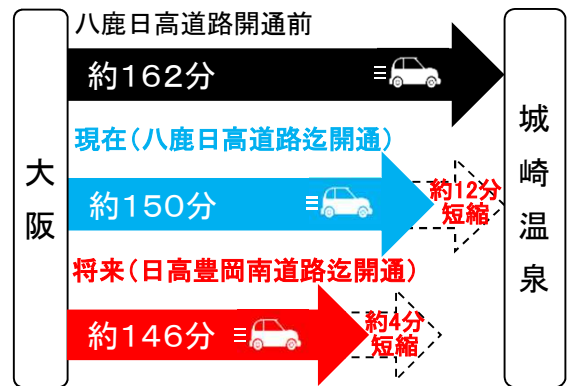


城崎温泉



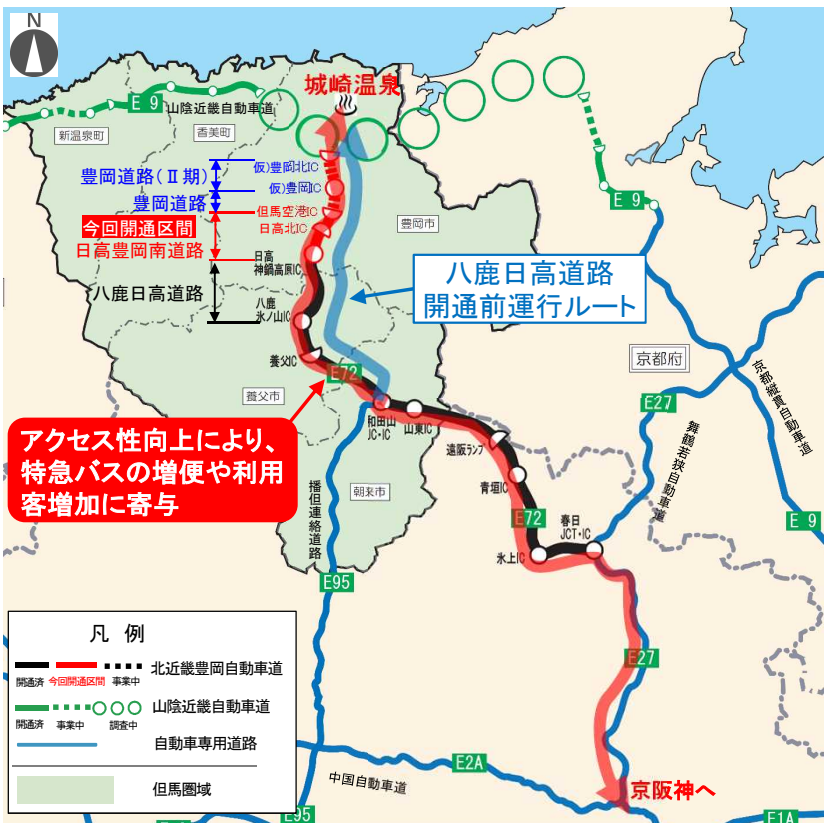
余部鉄橋・クリスタルタワー

<所要時間の変化>



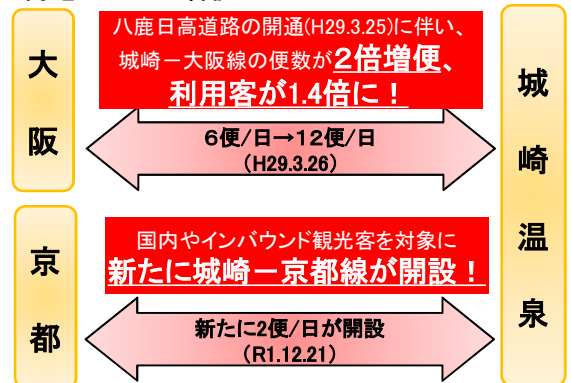
(出典)大阪市役所から城崎温泉までの所要時間を下記より算出
 八鹿日高道路開通前:平成27年 道路交通量調査
 現在:ETC2.0 R1年(全日)
 将来:ETC2.0 R1年(全日)、未供用区間は70km/h

<公共交通の変化>



アクセス性向上により、
特急バスの増便や利用
客増加に寄与

<特急バスの増便>



出典:全但バス(株)提供資料

<バス会社の声>



・大阪方面から高速バスで城崎温泉へ向かうお客様が増加していたため、八鹿日高道路開通時に直通便を設置し利用客が増えています。
 ・さらに今回、国内やインバウンド旅行者を対象に城崎温泉～京都間の連携を図るため新路線を開設しました。
 ・今後もPRを進めてお客様を増やしたいと思っています。

出典:豊岡河川国道事務所ヒアリング(R1年12月)